

## 付録 Ver3.4c パッチ修正内容

### A-1 Patch3

#### A-1-1 修正一覧（経費精算以外）

※文末に「★」があるものにつきましては留意事項がありますので、「A-1-2 留意事項」を参照ください

社内メール
<ul style="list-style-type: none"><li>社内メールを関連情報 URL から開くと、コメントの添付ファイル最大サイズのチェックが「社内メール」ではなく、「その他」で設定した値で行われる（#35810）</li></ul>
ファイル管理
<ul style="list-style-type: none"><li>複数のインスタンス(pe4j-1、pe4j-2)が起動する環境では、ファイル管理拡張オプションの PDF 変換処理が複数起動されてしまう（#36319）★</li></ul>
ワークフロー
<ul style="list-style-type: none"><li>取り下げた申請を表示している状態で、別を開いているタブでその申請を再申請した後、元のタブで削除操作が行えてしまう（#35437）</li><li>案件検索のキーワード検索性能改善（#36303）</li><li>コメント通知から自分が処理中の案件を開き、自分の前にルートの追加を行うとエラー画面が表示される（#36712）</li></ul>
データベース共通
<ul style="list-style-type: none"><li>登録済みの通知設定の「編集」ボタンをクリックしたときに NullPointerException で異常終了する場合がある（#31409）★</li><li>コメントにダブルクォーテーションを入力して登録するとエラー (javax.faces.FacesException)が発生する（#35303）★</li><li>レコード一覧表示の性能改善（#35592）</li><li>未読レコードが大量にある Web データベースで「全て既読にする」を実行した際に、別ユーザがコメントの削除や「全て既読にする」を実行すると、レコードのロックが発生し完了までに時間がかかることがある（#36374）★</li><li>フィールドの形式変換に時間がかかることがある（#36617）★</li><li>表示編集画面にて表示用として配置されているリッチテキスト項目の値が未入力状態で、レコード登録や明細行レコードを追加しようとするエラー(FacesException)が発生する（#37170）</li></ul>
Web データベース
<ul style="list-style-type: none"><li>大量のレコードが登録された Web データベースを参照作成した際、参照作成が完了するまで全機能の添付ファイルの参照・登録・削除操作が処理待ちとなる（#36767）★</li></ul>
汎用申請
<ul style="list-style-type: none"><li>申請書一覧で会社ドロップダウンの値を変更してからルート一覧を開くとルート情報が表示されないことがある（#34701）</li><li>汎用申請データベースキーワード検索の性能改善（#35496）</li><li>汎用申請一時保存データ取得の性能改善（#35562）</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 汎用申請データベースキーワード検索の性能改善 (#36259)</li> <li>• 汎用申請データベースキーワード検索の性能改善 (#36348)</li> <li>• Excel 形式の申請書リストを出力すると異常終了になることがある (#36599)</li> <li>• 汎用申請データ削除時の操作ログの強化 (#36775) ★</li> <li>• 汎用申請データ削除時の操作ログの内容に誤りがある (#36801)</li> <li>• 汎用申請の「表紙印刷」ボタンから出力した PDF ファイルで、申請番号の表示が途中で切れる場合がある (#36813) ★</li> </ul>
スマートフォン
<ul style="list-style-type: none"> <li>• iPhone でスマートフォン版を利用時、各機能の入力画面で文字を入力中にスクロールを行うと画面上部のバーが消えて元に戻らなくなることがある (#36411) ★</li> <li>• レコード内容表示画面の WebDB 間連携元データベースから遷移する一覧表示時に添付ファイル、社員/部門/お客様のキーワード検索が正しく行われない場合がある (#36528)</li> </ul>
システム管理
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Ver3.2c 以降で新規インストールした場合、作業、社内メール、ファイル管理、Web データベース、CRM データベースのデータ使用状況 CSV 出力の実行結果表示画面で条件に指定した値が表示されない (#35425)</li> </ul>
その他・共通
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Chrome または Edge にてリッチテキストエディタで日本語入力時に Shift + Enter を押下後に文字が複数回入力される (#29249)</li> <li>• Chrome または Edge にてリッチテキストエディタで文字装飾の操作後に日本語入力すると文字が複数回入力される (#35163)</li> <li>• 特定の操作を行った後でログアウトすると、稀にログインできなくなることがある (#35535) ★</li> <li>• pe4j.log の出力内容の強化(Web データベース) (#35611)</li> <li>• pe4j.log の出力内容の強化 (#35729)</li> <li>• 突き放し処理開始・終了時の操作ログの強化 (#35806) ★</li> <li>• pe4j.log の出力内容の強化(Web データベース以外) (#35610)</li> </ul>
SDK API、アドオン
<ul style="list-style-type: none"> <li>• REST Web データベース API で WebDB 参照項目に不正な値を指定すると HTTP 500 の応答になりエラーの原因が判別できない (#34250)</li> </ul>

## A-1-2 留意事項

### ・ 重要な留意事項

影響度が大きい不具合について、発生条件などの詳細情報を説明します。

<データベース共通>

登録済みの通知設定の「編集」ボタンをクリックしたときに NullPointerException で異常終了する  
場合がある (#31409)

発生条件：

下記のように、通知先のデータが不正な状態で登録されている場合に発生します。

通知先の単位 = 形式：社員選択

通知先 = 上司

が設定されているにもかかわらず、通知先=上司の場合に必ず指定する、通知のエスカレーションが未設定の状態

事象：

登録済みの通知設定の「編集」ボタンをクリックしたときにエラーが発生して異常終了する場合があります。

修正内容：

本パッチを適用することで、上記の発生条件に記載の不正な状態の通知先データが、

通知先の単位 = 形式：社員選択

通知先 = 本人

の設定に変更されます。これによって、対象の通知設定の「編集」ボタンをクリックできるようになりますので、通知設定の編集画面を開いて、正しい内容で設定を行ってください。

※ 不正な状態の通知データが登録できてしまう不具合については、Patch2 の修正一覧に記載の「登録済みの通知設定の編集ボタンをクリックした時にエラー(NullPointerException)が発生することがある (#31676)」で修正しております。

上記修正内容に記載の通り、本パッチを適用すると不正な状態の通知データの設定が変更されます。このデータ更新のログは、script>Log フォルダの update.log に出力されます。

不正なデータがあった場合のみ、対象のデータベース名、通知名とその内部 ID が下記の例のような形式でログファイルに出力されます。

例) 「通知先を本人に変更しました. ユーザ管理 DB(102681), 登録通知(2074)」

この例では、下記の通りとなります。

「ユーザ管理 DB(102681)」：対象のデータベース名(内部 ID)

「登録通知(2074)」：対象の通知名(内部 ID)

コメントにダブルクォーテーションを入力して登録するとエラー(javax.faces.FacesException)が発生する (#35303)

発生条件：

以下のいずれかの条件を満たした場合に発生します。

- ・ コメントにダブルクォーテーションを入力して登録する

- ・ コメントの最後に「¥」を入力して登録する

事象：

コメント登録時にエラー(javax.faces.FacesException)が発生します。

なお、この不具合の影響で、Ver3.2c 以前にダブルコーテーションや最後に「¥」を含むコメントが登録された Web データベースについて「定義とレコード」の参照作成を行った場合にもエラーが発生します。

修正内容：

エラーが発生しないように修正しました。

未読レコードが大量にある Web データベースで「全て既読にする」を実行した際に、別ユーザがコメントの削除や「全て既読にする」を実行すると、レコードのロックが発生し完了までに時間がかかることがある（#36374）

発生条件：

未読レコードが大量にある Web データベースで「全て既読にする」を実行中に、別ユーザがコメントの削除や「全て既読にする」を実行すると発生することがあります。

事象：

レコードのロックが発生し、後から操作を行ったユーザの操作完了までに時間がかかることがあります。

修正内容：

ロック待ちが発生しないように修正しました。

フィールドの形式変換に時間がかかることがある（#36617）

発生条件：

Web データベースで大量に CSV 取込を行うなどして、キーワード検索用の索引作成のキューが大量に溜まった状態で、フィールドの形式変換を実行すると発生することがあります。

事象：

フィールドの形式変換に時間がかかります。また、その際に当該 Web データベースへのアクセスで待ちが多数発生し、POWER EGG が利用できなくなる事象が発生することがあります。

修正内容：

フィールドの形式変換が早く終わるように修正しました。

## <Web データベース>

大量のレコードが登録された Web データベースを参照作成した際、参照作成が完了するまで全機能の添付ファイルの参照・登録・削除操作が処理待ちとなる（#36767）

発生条件：

以下の条件を全て満たす場合に発生します。

1. Web データベースおよび CRM データベース
2. レコードが大量に登録されている
3. 上記 1. 2. を満たすデータベースを「参照作成：定義とレコード」により参照作成する。

事象：

参照作成が完了するまで、POWER EGG の全機能の添付ファイルの参照・登録・削除操作が処理待ちとなります。また、大量の処理待ちが発生すると Web アプリケーションサーバの処理数の上

限に達し、操作時にエラーとなります。

修正内容：

発生条件を満たす場合に参照作成しても、事象が発生しないように修正しました。

<その他・共通>

特定の操作を行った後でログアウトすると、稀にログインできなくなることがある（#35535）

発生条件：

ログアウト処理の際に稀にアプリケーションサーバ上でデッドロックが発生する場合があります。

事象：

在席管理を行っている場合、そのユーザがログインできなくなります。

※復旧のためにはアプリケーションサーバを再起動する必要があります。

修正内容：

デッドロックの要因となる処理を修正しました。

## ・ 挙動変更

以下については、パッチ適用前後で挙動変更があります。

### <ファイル管理>

複数のインスタンス(pe4j-1、pe4j-2)が起動する環境では、ファイル管理拡張オプションのPDF変換処理が複数起動されてしまう(#36319)

本パッチ適用前は、pe4j-1、pe4j-2のどちらかが起動していれば、PDF変換処理が行われていました。

本パッチ適用後は、複数のインスタンス(pe4j-1、pe4j-2)が起動していて、PDF変換処理を行うインスタンスを停止すると、PDF変換処理が行われません。

例) pe4j-1、pe4j-2が起動している状態で、pe4j-1がPDF変換処理を行っていた場合、pe4j-1を停止すると、pe4j-2が起動していてもPDF変換処理が行われません。

### <汎用申請>

汎用申請データ削除時の操作ログの強化(#36775)

汎用申請データ削除時の操作ログを強化しました。

各ログの内容(MSGコードやメッセージ等)については、本パッチ適用後に、[マイメニュー]>[製品マニュアル]のメニューから表示される管理者マニュアルのログメッセージ集をご確認ください。(パッチ適用時に上記ログを追記した管理者マニュアルに置き換えております。)

汎用申請の「表紙印刷」ボタンから出力したPDFファイルで、申請番号の表示が途中で切れる場合がある(#36813)

本修正により、申請種別名の表示文字数が、半角54文字(全角27文字)から半角50文字(全角25文字)に減少するため、申請種別名が長い場合、表示される文字列が短くなります。

### <その他・共通>

突き放し処理開始・終了時の操作ログの強化(#35806)

突き放し処理開始・終了時の操作ログを強化しました。

各ログの内容(MSGコードやメッセージ等)については、本パッチ適用後に、[マイメニュー]>[製品マニュアル]のメニューから表示される管理者マニュアルのログメッセージ集をご確認ください。(パッチ適用時に上記ログを追記した管理者マニュアルに置き換えております。)

・ **注意事項**

以下については、パッチ適用について注意事項があります。

<ファイル管理>

複数のインスタンス(pe4j-1、pe4j-2)が起動する環境では、ファイル管理拡張オプションのPDF変換処理が複数起動されてしまう(#36319)

本修正により、PDF変換機能がTCPポート:49150で起動します。

TCPポート:49150を別のアプリケーションで利用していた場合、「PDF schedule not started because already running on the other process.」というメッセージがPOWER EGGログに記録されます。

全てのインスタンスで上記のメッセージが記録されていた場合は、poweregg.propertiesに以下のパラメタを追加し、インスタンスを再起動してください。

QST02\_PDF\_CHECK\_PORT=<利用可能ポート番号>

例)QST02\_PDF\_CHECK\_PORT=49151

<スマートフォン>

iPhoneでスマートフォン版を利用時、各機能の入力画面で文字を入力中にスクロールを行うと画面上部のバーが消えて元に戻らなくなることがある(#36411)

iOS15.4未満の端末は、本パッチを適用後も不具合の事象が発生します。

## A-2 Patch2

### A-2-1 修正一覧（経費精算以外）

※文末に「★」があるものにつきましては留意事項がありますので、「A-2-3 留意事項」を参照ください

ポータル
<ul style="list-style-type: none"><li>アシストメッセージ集計方法が「メッセージを識別で集約」のとき、アシストメッセージ表示画面上部に発信元社員名が表示されてしまう（#34067）</li><li>ナビビュー画面のイベント情報、掲示板表示の性能改善（#35506）</li></ul>
スケジュール
<ul style="list-style-type: none"><li>日次バッチで実行されるスケジュール自動承認処理の性能改善（#35601）</li></ul>
掲示板
<ul style="list-style-type: none"><li>掲示板キーワード検索の性能改善（#35607）</li></ul>
電子会議室
<ul style="list-style-type: none"><li>一時保存状態の同じ投稿内容を二つのタブで開き、片方のタブで投稿後にもう片方のタブで削除を行うと、投稿した内容が消える（#31953）</li></ul>
作業
<ul style="list-style-type: none"><li>一文字のキーワードを指定すると、キーワードが無視されて全件のレコードが検索されてしまう（#35479）★</li><li>作業キーワード検索の性能改善（#35522）</li></ul>
社内メール
<ul style="list-style-type: none"><li>社内メールが大量にある場合の社内メール一覧表示の性能改善（#35499）</li></ul>
伝言メモ
<ul style="list-style-type: none"><li>伝言メモ一覧表示の性能改善（#35591）</li><li>伝言メモの「内容」欄の登録内容がキーワード検索でヒットしない（#36307）★</li></ul>
ファイル管理
<ul style="list-style-type: none"><li>一時保存状態の同じファイルを二つのタブで開き、片方のタブで登録後にもう片方のタブで削除を行うと、登録したファイルが消える（#31953）</li><li>複数ユーザが同時に同じファイルの内容表示画面を表示しようとする時、最初に表示したユーザ以外はエラー(javax.faces.FacesException)が発生する（#35444）</li><li>ファイル管理で大量のフォルダやファイルが登録されている場合のキーワード検索の性能改善（#35478）★</li><li>一文字のキーワードを指定すると、キーワードが無視されて全件のレコードが検索されてしまう（#35479）★</li><li>ファイル管理検索結果一覧表示の性能改善（#35579）★</li><li>ファイル管理拡張オプションでマクロ有効ファイル(xlsm, docm, pptm ファイル)を登録して PDF 変換を行うと、正しく PDF 変換されない（#35874）★</li><li>ファイル管理一覧表示の性能改善（#35929）★</li></ul>
ワークフロー
<ul style="list-style-type: none"><li>承認状況欄の同時承認のチェックボックスが表示されない時がある（#34634）</li></ul>



- 案件検索画面で「申請案件のみ」を選択してキーワード検索したした場合のチューニング (#34767)
- 同じ名前の採番ルールが複数ある場合、申請様式基本情報編集画面の採番ルールドロップダウンリストに1件しか表示されない (#35194)
- ワークフローシステム環境の設定画面で後閲チェックボックスを「選択済にする」に設定している場合、分岐ルート内の審議者が後閲を行うと別分岐ルートの審議者も後閲してしまう (#35312) ★
- 採番ルール一覧画面で、採番ルールのラジオボタンを選択した状態で「検索」ボタンを押下するとエラー(UpdateModelException)が発生する (#35360)
- 案件検索画面の部門欄で、配下部門が無い部門を指定して「配下部門を含む」にチェックを入れて検索を行うと、配下部門でない部門の案件が検索される (#35455)
- 同時承認チェックボックスが正しく表示されないことがある (#35505)
- 同報権限のユーザが「同報」以外の処理済みルート直後に同報ルートを追加した場合、ルート追加されたユーザが確認処理できない (#35544) ★

#### データベース共通

- 登録済みの通知設定の編集ボタンをクリックした時にエラー(NullPointerException)が発生することがある (#31676) ★
- データベース一覧やレコード一覧画面でキーワード検索実行後、「キーワード」入力欄からカーソルが外れてしまう (#34892)
- Web データベースのレコード一覧画面で見出しをクリックしてソートすると、「処理中」のままとなることがある (#35064)
- 集計表示画面でキーワード検索を行うとエラー(NullPointerException)になることがある (#35160)
- 全レコードの絞り込み条件が利用できないにもかかわらず、一覧表示画面で絞り込み条件として「参照可能レコードすべて」を指定して EXCEL 出力を行うと、全レコードが出力されてしまう (#35177) ★
- 絞り込み「参照レコードすべて」を選択した時の CSV 出力と一覧表示のログに絞り込み条件の名称が記録されない (#35177)
- 一覧表示画面で絞り込み条件として「参照レコードすべて」を指定して CSV 出力を行うとエラー(NullPointerException)が発生することがある (#35420)
- 全レコードの絞り込み条件が利用できないにもかかわらず、一覧表示画面で絞り込み条件として「参照可能レコードすべて」を指定して CSV 出力を行うと、全レコードの添付ファイルと画像ファイルが出力されてしまう (#35420) ★
- CSV 取り込み時に実行される社員存在チェックの性能改善 (#35580)
- レコード一覧表示の性能改善 (#35600)
- レコードを更新すると、同じデータベース内でいずれかのレコードの明細行に登録されている複数社員選択項目の値が削除される場合がある (#35732) ★
- 表示編集画面の表示項目制御2つ目以降を設定時、表示制御対象のブロックに制御元項目を配置した状態で登録、変更ができてしまう (#35802) ★
- 入力項目において、フィールド設定で指定されている入力桁数より1桁多く入力できてし

<p>まうことがある (#36116)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「社員/部門/会社/お客様」にチェックを入れて Web データベースのキーワード検索を行うと、キーワード検索エンジンが OutOfMemoryError になり「キーワード検索は現在利用できません。システム管理者に連絡してください。」が表示される場合がある (#36291) ★</li> <li>未発令の組織図の部門名でキーワード検索できてしまう (#36291)</li> </ul>
<p>Web データベース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>添付ファイルが存在するデータベースに対して、CSV 取込やレコード全削除の処理とインデックス作成サービスの処理のタイミングが重なった場合、システム利用不可になることがある (#35787) ★</li> <li>CSV 取込時、社員選択項目について外部部門コード 1 の指定を省略すると、過去の所属部門で登録されることがある (#35982) ★</li> <li>変更履歴が多い場合にレコード内容表示画面の表示に時間がかかる (#36073)</li> <li>変更履歴件数が多い場合にレコードの更新を行うとエラー(RuntimeException)が発生することがある (#36073)</li> </ul>
<p>汎用申請</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リッチテキスト項目に form タグが混入した状態で申請を行うと、その申請に対して承認、取り下げ等ができなくなる (#34109) ★</li> <li>複数部門に所属している社員が“部外秘”の案件を閲覧する場合、ログイン部門とその部門配下から申請された“部外秘”の案件しか参照できない (#34356) ★</li> <li>掲示板連携を行う申請書の HTML エディタ初期表示内容編集が登録後、変更できない (#35070)</li> <li>申請書の登録画面でデータベースを選択後、もう一度データベース選択画面を開くと選択状態が保持されない (#35189)</li> <li>POWER EGG2.0 以前の入力フォーマットで作成した入力画面を使って申請した汎用申請において表の罫線や背景色が表示されない (#35304)</li> <li>申請書の登録画面から登録済み汎用申請データベースの設定画面に遷移して、明細行の一覧表示編集画面の項目の条件付き書式設定アイコンをクリックするとエラー (NullPointerException)が発生する (#35330)</li> <li>申請書の登録画面で「申請書名称」項目に 121 バイト以上の文字列を入力して確定ボタンを押すと、エラー(javax.faces.FacesException)が発生する (#35367)</li> <li>既存案件を参照作成して代理申請する時、申請者として該当申請書を利用できない会社に所属するユーザをマイメンバーから選択できてしまうことがある (#35416)</li> <li>申請書の登録画面からデータベース設定画面に遷移し、明細行の一覧表示編集画面のレイアウト編集にて項目の書式設定を行った後、一覧表示編集画面の「変更」ボタンを押下するとエラー(javax.faces.FacesException)が発生する (#35492)</li> <li>汎用申請データベースの明細行設定で、一覧表示画面の項目見出しの書式設定にて「横位置」と「文字サイズ」を設定した場合、申請確認画面と起案内容画面でその設定が有効にならない (#35779) ★</li> </ul>

CRM
<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客担当の登録画面で、自社の部門について登録する際、発令予定の組織図にしか存在しない新部門を検索し、登録しようとするエラー(EJBTransactionRolledbackException)が発生する (#33518) ★</li> <li>お客様情報出力の出力結果確認画面で一覧の「次」または「最後」リンクをクリックするとエラー(NullPointerException)が発生する (#35229)</li> <li>お客様情報の行動履歴一覧でキーワード検索すると「入力したキーワードでは検索できません」とエラーが表示され、検索できない (#35814) ★</li> </ul>
スマートフォン
<ul style="list-style-type: none"> <li>Web データベース 表示項目制御の対象ブロックに配置されている添付ファイル項目、イメージ項目をタップしても反応せず使用できないことがある (#34476)</li> <li>最終コメント者が現在運用中の組織図に存在しない場合、ワークフローのコメント通知一覧でエラー(500 Internal Server Error)が発生する (#34951)</li> <li>部門選択画面で会社ドロップダウンの値を選択した際に、選択済みの部門の値がクリアされない (#35388)</li> <li>システム環境の設定(ナビビュー分割画面)で、フレーム内のコンテンツの並び順を変更すると、四分画表示のナビビュー画面でメニューアイコン名が表示されなくなることがある (#35774)</li> <li>スマートフォン版スケジュールにおける情報を公開される脆弱性 (#36152)</li> </ul>
キーワード検索エンジン
<ul style="list-style-type: none"> <li>createIndex_WebDB.bat 実行中にデータベースが削除された場合に、インデックス作成がエラーで終了する (#34785)</li> <li>キーワード検索の索引作成サービスで、処理単位の最初のデータでエラーが発生すると、それ以降索引が更新されなくなる (#35649)</li> </ul>
システム管理
<ul style="list-style-type: none"> <li>システム管理者権限がなくても一部システム管理者機能を実行できてしまう (#35475)</li> <li>組織図リスト、社員所属情報リストにおいて、発令日が欠けることがある (#36371)</li> <li>組織図リスト、社員所属情報リストにおいて、会社名が欠けることがある (#36372)</li> </ul>
リマインダー
<ul style="list-style-type: none"> <li>PC 版の URL が設定されているリマインダー(PC/iPhone/Android)のワークフローに関するメッセージからシングルサインオンすると、正しい画面が表示されない (#35041)</li> <li>PC リマインダーで汎用申請の新着コメント通知からコメント通知一覧を開き、案件を選択すると「処理中」のままとなる (#35892)</li> </ul>
その他・共通
<ul style="list-style-type: none"> <li>リッチテキストエディタで挿入したアンカーへのハイパーリンクをクリックすると、新しいウィンドウが開いてしまう (#32862)</li> <li>MIU や Web データベースの取込処理などで、処理に時間がかかった場合にトランザクションタイムアウトが発生する (#34172)</li> <li>個人設定のログイン履歴確認画面表示の性能改善 (#34932) ★</li> <li>社員名簿画面の「条件で探す」パネルで社員名を指定して検索した後に CSV 出力を行う</li> </ul>

と、画面に表示された検索結果と異なる結果が出力されることがある（#35266）

- 横断検索（作業、ファイル管理）で一文字のキーワードを指定すると、キーワードが無視されて全件のレコードが検索されてしまう（#35479）★
- ブックマーク一覧表示の性能改善（#35523）
- 長時間の DB アクセスを 20 分で中断する（#35604）★
- 設定時の操作ログの強化（#35609）★
- 印刷用ページからファイル名を変更せず保存した PDF ファイルを Windows の標準機能で zip 圧縮するとエラーが発生する（#36009）

### A-2-2 修正一覧（経費精算）

※文末に「★」があるものにつきましては留意事項がありますので、「A-2-3 留意事項」を参照ください

共通
<ul style="list-style-type: none"><li>申請者が申請日時点の組織図において申請部門に所属していない場合でも、過去にその部門に所属していれば申請できてしまう（#35998）★</li></ul>

### A-2-3 留意事項

#### ・ 重要な留意事項

影響度が大きい不具合について、発生条件などの詳細情報を説明します。

#### <ワークフロー>

ワークフローシステム環境の設定画面で後閲チェックボックスを「選択済にする」に設定している場合、分岐ルート内の審議者が後閲を行うと別分岐ルートの審議者も後閲してしまう（#35312）
発生条件： 以下の条件を満たす場合に発生します。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. ワークフローシステム環境の設定の後閲チェックボックスを「選択済にする」に設定していること</li><li>2. 分岐ルートが存在していること</li><li>3. 後閲を行っている承認予定者は、2つ目以降の分岐ルート内の審議者であること</li></ol>
事象： 条件を満たす操作を行った場合、分岐ルート内の審議者が同じ分岐ルート内の審議者を後閲すると別分岐ルートの審議者も後閲されてしまう事象が発生します。
修正内容： 後閲チェックボックスがチェックされている審議者のみが後閲されるように修正しました。

同報権限のユーザが「同報」以外の処理済みルート直後に同報ルートを追加した場合、ルート追加されたユーザが確認処理できない（#35544）
発生条件： 以下の条件を全て満たす場合に発生します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「ルート追加」機能でルートを追加する</li><li>・ 「同報」権限のユーザがルートを追加する</li><li>・ 追加するルートの権限は「同報」である（※1）</li><li>・ 「同報」以外の権限の承認・確認済みルートの直後に追加する（※2）</li><li>・ 自分より後方に追加する</li></ul> ※1：「同報」権限のユーザが追加できるのは「同報」権限のルートのみです。 ※2：追加する人数は問いません。 ※3：Ver3.4c から追加された同報追加機能による「同報」権限の追加では上記条件を満たさないため発生しません。
事象： 追加された同報ルートのユーザに承認依頼が回らない事象が発生します。 追加された同報ルートのユーザに承認依頼が回らないため、承認予定のまま残り続け、フローが完了しません。 また、フローが完了しないため、下記のような影響があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 汎用申請の申請書で下記の設定を行っている場合、フロー完了時の処理が行われません。<ul style="list-style-type: none"><li>➢ Web データベースへのコピー設定で「フロー完了時にコピー」を指定している</li><li>➢ ファイル管理連携設定で「フロー完了時に連携」を指定している</li></ul></li><li>・ 汎用申請の申請書に、実行タイミングが「完結」の事後処理が登録されている場合、事後処</li></ul>

理が実行されません。

修正内容：

追加された同報ルートの子ユーザに承認依頼が回るように修正しました。

本パッチを適用すると、不整合な状態になった申請案件のルート情報がリカバリされます。実行後、script>Log フォルダの update.log にリカバリされた申請の情報が出力されます。

出力内容は以下の通りです。

申請日

申請者

件名

対象者

※ appformid 並びに approuteid は、リカバリ対象の内部キー情報になります。

#### <データベース共通>

登録済みの通知設定の編集ボタンをクリックした時にエラー(NullPointerException)が発生することがある(#31676)

発生条件：

通知先設定で上司が選択されているのに階層レベルが未選択の状態に登録されている通知設定について「編集」ボタンをクリックした場合に発生します。

※ 通知先設定において、単位として「形式:社員選択」「形式:スタンプ」を選択した場合、通知先として上司を選択できます。上司を選択した場合、本来は階層レベルの指定は必須になりますが、通知先として本人が選択された状態で登録されている通知設定について、本人から上司に変更した場合に、階層レベルを選択しなくても設定変更できるようになっており、不正な状態のデータが発生しておりました。

事象：

「編集」ボタンをクリックした時にエラー(NullPointerException)が発生しておりました。

修正内容：

通知先として上司を選択した場合、階層レベルの指定方法を選択するためのラジオボタンがデフォルトで選択状態になるように修正しました。また、ドロップダウンリストで階層レベルが未選択の状態に通知先設定を追加・変更しようとした時にエラーメッセージを表示するように修正しました。

全レコードの絞り込み条件が利用できないにもかかわらず、一覧表示画面で絞り込み条件として「参照可能レコードすべて」を指定して EXCEL 出力を行うと、全レコードが出力されてしまう(#35177)

発生条件：

全レコードの絞り込み条件が利用できない状態で、レコード一覧で絞り込み条件「参照レコードすべて」を指定すると発生します。

事象：

発生条件を満たす状態で EXCEL 出力を行うと、全レコードが出力されてしまう。

修正内容：

本来参照できるレコードのみが出力されるように修正しました。

全レコードの絞り込み条件が利用できないにもかかわらず、一覧表示画面で絞り込み条件として「参照可能レコードすべて」を指定して CSV 出力を行うと、全レコードの添付ファイルと画像ファイルが出力されてしまう (#35420)

発生条件：

下記の条件を全て満たす場合に発生します。

1. 出力対象のレコードが 100 件以内の場合
2. 全レコードの絞り込み条件が利用できない状態で、レコード一覧では絞り込み条件「参照レコードすべて」を指定した場合

事象：

発生条件を満たす状態で CSV 出力を行うと、全レコードで登録されている添付ファイルと画像ファイルが出力されてしまいます。なお、レコード自体は、絞り込み条件「参照可能レコードすべて」で参照可能なレコードのみが出力されます。

修正内容：

本来参照できるレコードの添付ファイルと画像ファイルのみが出力されるように修正しました。

レコードを更新すると、同じデータベース内でいずれかのレコードの明細行に登録されている複数社員選択項目の値が削除される場合がある (#35732)

発生条件：

明細行に複数社員選択項目があるデータベースでレコードの更新を行うと発生します。

事象：

更新したレコードとは別レコードの明細行の複数社員選択項目の値が削除されてしまいます。

修正内容：

明細行の複数社員選択項目の値が意図せず削除されないように修正しました。

表示編集画面の表示項目制御 2 つ目以降を設定時、表示制御対象のブロックに制御元項目を配置した状態で登録、変更ができてしまう (#35802)

発生条件：

表示編集画面の表示項目制御を 2 つ以上設定していると発生します。

事象：

制御元項目のフィールドを表示制御対象のブロックに配置した状態で、登録、変更ができてしまいます。

修正内容：

制御元項目のフィールドを表示制御対象のブロックに配置した状態で、登録、変更を行なおうとするとエラーメッセージが表示されるように修正しました。

不具合の影響を受けた表示項目制御を抽出するための調査ツールを「調査ツール」フォルダに同梱しております。(ツールのファイル名: checkDatabaseScreenDef\_35802.zip)

パッチ適用後に調査ツールを実行し、データが抽出された場合、該当の表示編集画面の表示項目制御を確認し、正しい状態に再設定を行ってください。

調査ツールの利用方法は、ツールに同梱の「スクリプト使用方法.txt」をご確認ください。



「社員/部門/会社/お客様」にチェックを入れて Web データベースのキーワード検索を行うと、キーワード検索エンジンが OutOfMemoryError になり「キーワード検索は現在利用できません。システム管理者に連絡してください。」が表示される場合がある (#36291)

発生条件：

組織の発令が何度も行われている場合に「社員/部門/会社/お客様」にチェックを入れて Web データベースのキーワード検索を行うと発生します。

事象：

キーワード検索エンジンで OutOfMemoryError になり、キーワード検索時に「キーワード検索は現在利用できません。システム管理者に連絡してください。」が表示され、キーワード検索ができなくなります。

修正内容：

発生条件の操作を行った場合でもエラーにならずに検索ができるように修正しました。

### <Web データベース>

添付ファイルが存在するデータベースに対して、CSV 取込やレコード全削除の処理とインデックス作成サービスの処理のタイミングが重なった場合、システム利用不可になることがある (#35787)

発生条件：

以下の処理のタイミングが重なった場合に発生します。

1. 添付ファイルフィールドに添付ファイルが登録されているレコードが存在する Web データベースに対するレコード全削除処理 (※)
2. 上記 1.と同じ Web データベースで添付ファイルが登録されているレコードに対するキーワードインデックス作成サービスの処理

※レコードの全削除は、以下の操作時に行われます。

- ・既存レコード削除を指定して CSV 取り込みを行う時
- ・データベースの設定画面でデータベースの削除、レコードの全削除を行う時

事象：

該当の Web データベースにアクセスした場合、無応答となり、最終的にシステムが利用できなくなる場合があります。

修正内容：

レコードの全削除と、インデックスの作成サービスが競合した場合も正常に処理されるように修正しました。

### <汎用申請>

リッチテキスト項目に form タグが混入した状態で申請を行うと、その申請に対して承認、取り下げ等ができなくなる (#34109)

発生条件：

リッチテキスト項目の入力値に form タグが混入した状態で申請されている場合に発生します。

事象：

該当の申請に対して、承認、取り下げ等の操作を行うと処理中のままになり、処理ができない事象が発生します。

修正内容：

申請時にリッチテキスト項目の入力値に form タグが混入している場合は、form タグを削除するように修正しました。また、既にリッチテキスト項目の入力値に form タグが混入した状態でも承認、取り下げ等の処理が行えるように修正しました。

<CRM>

お客様情報の行動履歴一覧でキーワード検索すると「入力したキーワードでは検索できません」とエラーが表示され、検索できない (#35814)

発生条件：

お客様情報の行動履歴一覧でキーワード検索を行うと発生します。

事象：

「入力したキーワードでは検索できません」とエラーメッセージが表示され、検索できません。

修正内容：

キーワード検索が行えるように修正しました。

## ・ 挙動変更

以下については、パッチ適用前後で挙動変更があります。

### <作業/ファイル管理/その他・共通>

一文字のキーワードを指定すると、キーワードが無視されて全件のレコードが検索されてしまう (#35479)
キーワード検索機能では、本来、1文字のキーワードでの検索はできない仕様ですが、パッチ適用前は、1文字のキーワードを指定して検索すると、キーワードが無視されて全件検索が行われておりました。 パッチ適用後は、1文字のキーワードが含まれている場合、検索時にエラーメッセージが表示され、検索が行われなくなります。 なお、パッチ適用後も、1文字にアスタリスクを付加したキーワード（例：あ*）での検索は従来通り可能です。

### <ファイル管理>

ファイル管理で大量のフォルダやファイルが登録されている場合のキーワード検索の性能改善 (#35478)
パッチ適用前は、「最終更新日時」列でソートした時のソート順は 最終更新日時 + ファイル名 でした。パッチ適用後は、ソート順が 最終更新日時 + タイトル に変わります。

ファイル管理検索結果一覧表示の性能改善 (#35579)
検索結果一覧においてファイル名（「ファイル」列）でソートする操作は性能に影響を及ぼしておりました。実際の運用ではファイル名でソートすることは少ないと想定されます。性能悪化を防止するため、ファイル名でのソート機能を廃止しました。

ファイル管理一覧表示の性能改善 (#35929)
ファイル一覧においてファイル名（「ファイル」列）でソートする操作は性能に影響を及ぼしておりました。実際の運用ではファイル名でソートすることは少ないと想定されます。性能悪化を防止するため、ファイル名でのソート機能を廃止しました。

### <データベース共通>

「社員/部門/会社/お客様」にチェックを入れて Web データベースのキーワード検索を行うと、キーワード検索エンジンが OutOfMemoryError になり「キーワード検索は現在利用できません。システム管理者に連絡してください。」が表示される場合がある (#36291)
本パッチを適用することで、Web データベース・汎用申請データベースでの部門選択項目に対するキーワード検索の挙動が変わります。 本パッチ適用前は、部門選択項目に登録された部門の過去の部門名でキーワード検索するとヒットしていましたが、本パッチ適用後はヒットしなくなります。

<例>

【部門情報】

11/1 の発令の際に、「企画室」が廃止され、新しく「総合企画部」が追加されたとします。

12/1 の発令の際に、「営業部」の部門名が「セールス部」に変更されたとします。

部門 ID	発令日	部門名
10	10/1	営業部
20	10/1	企画室
10	11/1	営業部
30	11/1	総合企画部
10	12/1	セールス部
30	12/1	総合企画部

【部門名参照情報】

部門 ID ごとに最新の部門名を保持します。

部門 ID:10 は直近の発令時の「セールス部」が保持されます。

部門 ID:20 は廃止となっていますが、「企画室」が保持されています。

部門 ID	発令日	部門名
10	12/1	セールス部
20	10/1	企画室
30	12/1	総合企画部

【Web データベースの部門選択項目】

画面上にレコード表示される際には、【部門名参照情報】から部門名を取得しています。

レコード ID	部門選択部門 ID		部門名の表示
1	10	→	セールス部
2	20	→	企画室
3	30	→	総合企画部

本パッチ適用前は、部門選択部門 ID に合致する部門名を【部門情報】から取得し、キーワード検索を行っておりました。

例えば、レコード ID:1 については、【部門情報】から「営業部」と「セールス部」が抽出され、それに対してキーワード検索されていました。

そのため、キーワード「営業部」で検索すると、レコード ID:1 のレコードがヒットしていました。

ただし、レコード表示時、部門選択項目には部門名「セールス部」として表示されていました。

本パッチ適用後は、部門選択部門 ID に合致する部門名を【部門名参照情報】から取得し、キーワード検索を行うようになります。つまり、Web データベースのレコード表示時に画面上に表示される部門名に対してキーワード検索が行われることとなります。

そのため、例えば、キーワード「営業部」で検索しても、レコード ID:1 のレコードはヒットしな

くなります。

<汎用申請>

複数部門に所属している社員が“部外秘”の案件を閲覧する場合、ログイン部門とその部門配下から申請された“部外秘”の案件しか参照できない（#34356）

1. 本パッチ適用前は、下記案件は該当部門に所属を切り替えないと案検索画面で参照できませんでしたが、本パッチ適用後は所属を切り替えなくても参照できるようになります。

<部外秘の案件>

ログイン部門以外の所属部門（※）とその配下部門の案件

※ 並行期間内の所属部門、複数会社に所属する場合のログイン会社以外の会社の所属部門も含む

<社外秘の案件>

並行期間内に所属していた会社の案件

2. 本パッチ適用前は、組織の並行期間内であっても、並行期間内の組織変更で所属異動がない社員は、並行期間内の組織変更において削除された配下部門の“部外秘”の案件は参照できませんでしたが、本パッチ適用後は参照できるようになります。

例) 下記のような組織変更があったとします。

発令前の組織図

部門 A1（レベル 1）                      社員 X、社員 Y が所属

    部門 A1-1（レベル 2）

    部門 A1-2（レベル 2）

部門 A2（レベル 1）

発令後の組織図（※部門 A1-1 を削除）

部門 A1（レベル 1）                      社員 X が所属

    部門 A1-2（レベル 2）

部門 A2（レベル 1）                      社員 Y が所属

<パッチ適用前>

並行期間内でも、社員 X は部門 A1-1 で申請された“部外秘”の案件が参照できません。

なお、社員 Y は所属を部門 A1 に切り替えれば、部門 A1-1 で申請された“部外秘”の案件が参照できます。

<パッチ適用後>

並行期間内であれば、社員 X は部門 A1-1 で申請された“部外秘”の案件が参照できます。

なお、社員 Y は所属を切り替えなくても、部門 A1-1 で申請された“部外秘”の案件が参照できます（上記 1. の挙動変更）。

<CRM>

顧客担当の登録画面で、自社の部門について登録する際、発令予定の組織図にしか存在しない新部門を検索し、登録しようとするエラー(EJBTransactionRolledbackException)が発生する(#33518)

本パッチ適用前は、基準日を変更した時に種別が「社員」の場合は社員選択項目がクリアされ、種別が「部門」の場合は部門選択項目がクリアされていました。  
本パッチ適用後は、種別に関わらず基準日を変更した時に社員選択項目と部門選択項目がクリアされます。

<その他・共通>

個人設定のログイン履歴確認画面表示の性能改善 (#34932)

日次バッチで行う処理として、ログイン履歴データを削除する処理が増え、そのログ(メッセージコード COM98360SI、COM98370SI、COM98380SE)が出力されるようになります。

各ログの内容については、本パッチ適用後に、[マイメニュー]>[製品マニュアル]のメニューから表示される管理者マニュアルのログメッセージ集をご確認ください。

(パッチ適用時に上記ログを追記した管理者マニュアルに置き換えております。)

長時間の DB アクセスを 20 分で中断する (#35604)

本パッチ適用後は、各処理で実行される DB アクセスが 20 分でタイムアウトにより中断するようになります。ただし、下記処理は 1 回の DB アクセスで扱うデータ量が多く、通常でも処理時間が 20 分を超えることが予想されるため、20 分を超えても中断をしないようになっております。

1. 添付ファイルのダウンロード・アップロード
2. 日次バッチで実行される下記の処理
  - ・ 帳票データなどの一時データの削除
  - ・ ナレッジポイントの加算
  - ・ 期限を過ぎた予約スケジュールの自動承認
  - ・ 着手日が到来した作業に対する新着通知フラグのセット
  - ・ 備品管理者データの作成
  - ・ 設定された期間を経過した社内メールのゴミ箱データの削除
  - ・ 設定された期間を経過したログデータの削除
  - ・ 設定された期間を経過した閲覧履歴データの削除
  - ・ Web データベースの通知データ作成処理
  - ・ Web データベースの確認済み通知データ(確認してから 1 ヶ月経過したデータ)、Web データベース機能が利用できなくなった社員の通知データの削除
  - ・ ファイル管理の PDF 変換後にフォルダ設定(PDF 変換する/しない)変更により不要となった PDF ファイルの削除(オプション製品「ファイル管理拡張オプション」導入時のみ)
  - ・ 設定された期間を経過したファイル管理 PDF 変換ログデータの削除(オプション製品「ファイル管理拡張オプション」導入時のみ)
  - ・ 設定された期間を経過したお客様新着情報データの削除

#### 設定時の操作ログの強化 (#35609)

本パッチ適用後は、下記の設定を行った時に操作ログが出力されるようになります。

- ・個人設定

- 共通設定

- 1 ページの表示件数
    - マイメンバーに部門社員を表示
    - 社員選択画面の初期表示
    - ナビビュー各領域の表示件数

- ・システム設定>システム環境の設定

- 共通操作

- 1 ページの表示件数
    - マイメンバーに部門社員を表示
    - 社員選択画面の初期表示
    - 社員選択画面の組織図初期表示階層
    - 添付ファイルの最大サイズ
    - 添付ファイル検索機能の使用有無

- ログイン・パスワード環境

- 旧組織の利用期間

- ナビビュー分割画面

- 各フレームのコンテンツの追加・削除

- ナビビュー環境

- ナビビューの自動更新間隔
    - ナビビュー各領域の表示件数（最大値、デフォルト値）

- メール環境

- ナビビューメール表示件数

- ログ・閲覧履歴環境

- ログ保存期間
    - 閲覧履歴保存期間

各ログの内容（MSG コードやメッセージ等）については、本パッチ適用後に、[マイメニュー]> [製品マニュアル]のメニューから表示される管理者マニュアルのログメッセージ集をご確認ください。

（パッチ適用時に上記ログを追記した管理者マニュアルに置き換えております。）

#### <経費精算 共通>

申請者が申請日時時点の組織図において申請部門に所属していない場合でも、過去にその部門に所属していれば申請できてしまう (#35998)

#### <パッチ適用前>

申請日時時点の組織図において現在ログイン中の部門に所属がなくても、申請日以前の組織図においてその部門に所属があれば、その部門で申請することができていました。

例)

2023/4/3 に申請を実施

申請日：過去の日付 2023/3/31 を入力

申請者：本日(2023/4/3)時点で所属している C 部門でログイン

※申請者は 2023/3/31 時点では B 部門に所属。

2020/3/20 発令の組織図では C 部門に所属していたことがある。

上記の状態申請することができていました。

ただし、この状態で申請すると、2020/3/20 時点の組織図をもとにルートが生成され、意図しないルートで申請ができてしまっていました。

<パッチ適用後>

申請日時点の組織図において現在ログイン中の部門に所属がない場合、申請時にエラーメッセージが表示され、申請できなくなります。(申請日以前の組織図においてその部門に所属があったとしても申請できなくなります。)

システム設定>システム環境の設定>ログイン・パスワード環境で「旧組織の利用期間」を設定し、申請者が事前に申請日時点の組織図での所属に切り替えた上で、申請を行ってください。

例)

2023/4/3 に申請を実施

申請日：過去の日付 2023/3/31 を入力

※申請者は本日(2023/4/3)時点では C 部門に所属、2023/3/31 時点では B 部門に所属。

この場合、申請者は事前に申請日(2023/3/31)時点の B 部門に所属を切り替えた上で、申請を行ってください。



## ・ 注意事項

以下については、パッチ適用について注意事項があります。

### <伝言メモ>

伝言メモの「内容」欄の登録内容がキーワード検索でヒットしない (#36307)

本パッチを適用しても、既に登録済みの伝言メモの「内容」はキーワード検索でヒットしません。キーワード検索できるようにするには伝言メモのインデックスの再作成が必要です。

### <ファイル管理>

ファイル管理拡張オプションでマクロ有効ファイル(xlsm, docm, pptm ファイル)を登録して PDF 変換行くと、正しく PDF 変換されない (#35874)

既に PDF 変換されているファイルにつきましては、本パッチを適用しても正しい状態にはなりません。本パッチ適用後、登録済みのファイルについて「変更」リンクから再度登録しなおすと、正しい状態に PDF 変換が行われます。

### <Web データベース>

CSV 取込時、社員選択項目について外部部門コード 1 の指定を省略すると、過去の所属部門で登録されることがある (#35982)

社員選択項目に登録されている外部部門コード 1 の値を画面から確認する方法はありません。CSV 出力することで、外部部門コード 1 の値を確認することが可能です。

社員選択項目がある Web データベースから出力した CSV ファイルを利用する際、出力された社員選択項目の外部部門コード 1 を利用する場合はご注意ください。

本パッチ適用後、社員選択項目について外部部門コード 1 の指定を省略して CSV 取込を行うことで、現在の所属部門の外部部門コード 1 で登録・更新されます。必要に応じて、パッチ適用後に外部部門コード 1 の指定を省略して CSV 取込を行ってください。

### <汎用申請>

汎用申請データベースの明細行設定で、一覧表示画面の項目見出しの書式設定にて「横位置」と「文字サイズ」を設定した場合、申請確認画面と起案内容画面でその設定が有効にならない (#35779)

本パッチを適用しても、既に申請済みの起案内容画面のレイアウトは設定が有効になりません。

## A-3 Patch1

### A-3-1 修正一覧（経費精算以外）

※文末に「★」があるものにつきましては留意事項がありますので、「A-3-3 留意事項」を参照ください

ポータル
<ul style="list-style-type: none"><li>登録されているメニューが多い場合、アクションメニューの表示に時間がかかる (#35646)</li></ul>
スケジュール
<ul style="list-style-type: none"><li>複数日指定のスケジュールに参加者追加を行った場合、追加された参加者が参加回答できないことがある (#34089)</li><li>スケジュール登録画面で場所項目に長い文字列を入力して登録すると、スケジュール1ヶ月画面の曜日の列の幅が広くなり画面レイアウトが崩れてしまう (#34876)</li></ul>
ファイル管理
<ul style="list-style-type: none"><li>ファイル管理拡張オプション Microsoft Edge、Google Chrome、Safari で、変換 PDF ファイルをキーワード検索済みの状態で表示可能にする (#35016) ★</li></ul>
ワークフロー
<ul style="list-style-type: none"><li>汎用申請以外の申請（経費精算やアドオンを使った申請）に対して審議者がルート部品を追加しようとするエラー(javax.faces.FacesException)が発生する (#34778)</li><li>通知タブの審議決裁一覧から案件を表示し、ルート変更画面で自分の前にルートを追加して審議決裁一覧に戻った際に、指定していた検索条件がクリアされる (#34847)</li><li>審議者が5人以上の場合に後閲すると、本来より後ろの審議者へ承認依頼の通知が行われ、承認できてしまうことがある (#34869) ★</li><li>「案件検索における検索期間」の設定の上限値が、「添付ファイルを検索」のチェックをつけると有効にならない (#34999)</li></ul>
データベース共通
<ul style="list-style-type: none"><li>アシストメッセージ表示時に行われる Web データベースの通知削除処理の SQL の実行に時間がかかる (#29338)</li><li>WebDB 参照コード入力の項目に値が登録されている明細行を一覧から選択したタイミングで、値が未登録の転送先の項目に転送が行われてしまう (#32798)</li><li>絞り込み条件を指定した関連情報 URL からレコード一覧画面を開き、検索等の操作を行うと絞り込み条件が変わってしまうことがある (#33545)</li><li>Web データベースでカンマ編集なし小数点以下の桁数 0 の数値項目は、マイナス(-)値の場合、入力できる桁数が1少ない (#33839)</li><li>1件以上の通知件数がある Web データベースのレコード一覧画面で、内容表示画面を開いてレコード一覧画面にもどると、左ペインの通知フィルターの件数が0件になり、件数が更新されなくなる (#34116)</li><li>明細画面の「(全項目)」を使用可能な表示編集画面に配置しているにもかかわらず、CSV 出力の項目選択の画面に明細行のフィールドが表示されないことがある (#34294)</li><li>集計表示画面の[明細を確認]リンクから遷移した一覧表示画面で「次」リンクを押すと、</li></ul>

<p>一覧画面のデフォルト絞り込み条件での検索結果に変わってしまう (#34416)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バッチによるデータベースの CSV 出力または汎用申請データ出力中に添付ファイルやイメージファイルが削除され異常終了した時に、ログとバッチを実行しているコマンドプロンプトにエラーの原因が出力されない (#34439)</li> <li>• レコード一覧画面でキーワード検索を実行後、「CSV 出力」ボタンを押下すると Java エラー(javax.faces.FacesException)が発生する可能性がある (#34913)</li> </ul>
<p>汎用申請</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 汎用申請データベースの登録で、スマートフォン版用の表示編集画面を作成した後、表示編集画面のレイアウト編集で明細行を登録し、設定ボタンを押下するとエラー(NumberFormatException)が発生する (#34210)</li> <li>• システム管理者用の汎用申請の設定メニューから申請書一覧を開いた時、「会社」ドロップダウンリストに自分が所属している会社しか表示されない (#34530)</li> <li>• 汎用申請のデータ削除画面で申請書フォルダがまだ作成されていない会社を指定してデータ削除を行うとエラー (EJBTransactionRolledbackException) が発生する (#34568)</li> <li>• 決裁取消を行った申請が掲示板連携済の場合、再申請をしようとするとエラー(NullPointerException)が発生する (#34694) ★</li> <li>• 汎用申請データ削除時に、関係のない申請データの指定社員 1 名や審議者 1 名の候補者明細が消える場合がある (#35527) ★</li> </ul>
<p>スマートフォン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スマートフォン用の表示編集画面で表示項目制御により非表示になっているレイアウトに入力必須のフィールドが配置されている場合、レコード登録時に必須チェックが行われてレコードを登録できないことがある (#33318)</li> <li>• iPhone でスマートフォン版を利用時、スケジュール登録画面で登録先項目にサジェスト検索から社員を追加すると、タイトル領域が表示されなくなりスケジュール登録ができなくなる場合がある (#34188)</li> <li>• スマートフォン版のルート変更画面で同報権限のユーザの前後以外にも挿入ボタンが表示されてしまう (#34498)</li> <li>• POWER EGG の言語を中国語、英語に設定している場合、iOS13 以降で、起案内容表示画面の添付ファイルが別ウィンドウで表示されない (#34573)</li> <li>• スマートフォン版の掲示検索画面で掲載者または掲載責任者に一度社員を選択し、その後、社員を削除すると検索できなくなる (#34838)</li> </ul>
<p>キーワード検索エンジン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• POWER EGG SEARCH Index WebDB サービスの構文解析ログとエラーログが、POWER EGG SEARCH Index サービスのログとファイルのローテーション方法が異なる (#34183)</li> </ul>
<p>リマインダー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• iPhone リマインダーの通知サービス処理が対象社員全員に対して 1 トランザクションで行われているため、レスポンス悪化などが発生することがある (#34189) ★</li> </ul>
<p>システム管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 組織図エディタの発令日一覧を開いたままの場合、発令後に組織図の削除や発令日の変更</li> </ul>

ができてしまう (#34014) ★
<ul style="list-style-type: none"><li>Ver3.2c以降で新規インストールした場合、スケジュール、掲示板、電子会議室のデータ使用状況 CSV 出力の実行結果表示画面で条件に指定した値が表示されない (#35271)</li></ul>
マスターインポートユーティリティ
<ul style="list-style-type: none"><li>社員所属のセットアップにて、外部連携部門コードと外部連携申請部門コードの両方に申請部門のコードを指定すると、申請部門だけに所属した状態で登録できてしまう (#33725)</li></ul>

### A-3-2 修正一覧（経費精算）

※文末に「★」があるものにつきましては留意事項がありますので、「A-3-3 留意事項」を参照ください

その他・共通
<ul style="list-style-type: none"><li>• インボイス制度対応（#35079）★</li><li>• 負担部門チェックを行う設定の場合、部門識別が空白の明細種別を選択して申請しようとすると負担部門チェックでエラーになり申請できない（#35459）★</li></ul>

### A-3-3 留意事項

#### ・ 重要な留意事項

影響度が大きい不具合について、発生条件などの詳細情報を説明します。

#### <ワークフロー>

審議者が5人以上の場合に後閲すると、本来より後ろの審議者へ承認依頼の通知が行われ、承認できてしまうことがある (#34869)
発生条件： ・ 1つのルート明細に5人以上の審議者がいる場合 例) ・ ルート種別 = "ルート部品"において、5人以上の審議者が含まれる場合 ・ ルート種別 = "申請者の所属部門全員"において、5人以上の審議者が含まれる場合 ・ ルート種別 = "組織図"において、5人以上の審議者が含まれる場合 または ・ ルート追加・変更画面で4人以上の審議者を追加し、その直後に審議者がいる場合  上記いずれかの条件を満たす場合に、下記の操作を行うと発生します。 ルート明細（または追加された審議者）の中の3人目以降の審議者が、後閲または後閲承認を行う、または、1人目の審議者が、承認時に後ろ2人以上を後閲する。 事象： 本来より後ろの審議者にも承認依頼の通知が行われ、承認できてしまう事象が発生しておりました。 修正内容： 本来の審議者にのみ承認依頼の通知が行われるように修正しました。

#### <汎用申請>

決裁取消を行った申請が掲示板連携済の場合、再申請をしようとするとエラー (NullPointerException)が発生する (#34694)
発生条件： 以下の条件を全て満たしたデータを再申請しようとするとエラーが発生しておりました。 ・ 掲示板連携を行う申請である ・ 決裁済みで掲示板連携済みである ・ 決裁後に決裁取り消しが行われている 事象： 発生条件を満たす申請を表示して「編集」ボタンを押下するとエラーが発生しておりました。 修正内容： エラーにならず再申請ができるように修正しました。

汎用申請データ削除時に、関係のない申請データの指定社員 1 名や審議者 1 名の候補者明細が消える場合がある（#35527）

発生条件：

以下の条件を全て満たす場合に発生します。

- ・ POWER EGG のバージョンが Ver3.3c 以降
- ・ ルート部品「指定社員 1 名」を利用した申請データがあり、そのルート部品「指定社員 1 名」において指定されている社員が 2 名以上存在する

または

「審議者 1 名」の組織図ルートを利用した申請データがあり、その「審議者 1 名」の組織図ルートの該当部門に審議者が 2 名以上存在する

- ・ 汎用申請データをデータ削除機能で削除する

※ ルート部品「指定社員 1 名」、「審議者 1 名」の組織図ルートは Ver3.3c にて追加された機能になります。

事象：

上記条件を満たす場合、削除対象ではない申請データにあるルート部品「指定社員 1 名」または「審議者 1 名」の組織図ルートの候補社員明細の情報が消えることがあります。

修正内容：

上記条件を満たす場合でも、関係のない申請データの候補社員明細の情報が消えないように修正しました。

本パッチを適用しても、本不具合により消えた情報を復旧することはできません。ご容赦ください。

なお、本不具合により候補社員の明細が消えた申請データを調査するツールを「調査ツール」フォルダに同梱しております。（ツールのファイル名：checkHanyoDel\_35527.zip）

対象の申請データを確認する場合は、調査ツールをご利用ください。

調査ツールの利用方法は、ツールに同梱の「スクリプト使用方法.txt」をご確認ください。

<リマインダー>

iPhone リマインダーの通知サービス処理が対象社員全員に対して 1 トランザクションで行われているため、レスポンス悪化などが発生することがある（#34189）

発生条件：

iPhone リマインダーの通知サービスの処理では、対象社員全員分の処理が 1 トランザクションで行われておりました。

そのため、日付が変わった後、iPhone リマインダーの通知サービスの処理が、日次バッチや画面からのログイン等の処理より先に動いた場合、対象社員ごとに発令日の切り替え処理が行われ、レスポンス悪化等が発生しておりました。

事象：

システム全体でレスポンス悪化が発生しておりました。

修正内容：

社員ごとにトランザクションを分けて処理するように修正しました。

## <システム管理>

組織図エディタの発令日一覧を開いたままの場合、発令後に組織図の削除や発令日の変更ができてしまう (#34014)
発生条件： 以下の条件を全て満たす場合に発生します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 予定の組織図が登録されている</li><li>・ 組織図エディタの発令日一覧を開いた状態のまま予定の組織図の発令日が到来した</li></ul>
事象： 発令後に組織図の削除や発令日の変更ができてしまう事象が発生しておりました。
修正内容： 発令済みの組織図の削除や発令日の変更を行おうとした場合にエラーメッセージが表示されるように修正しました。

## <経費精算 その他・共通>

インボイス制度対応 (#35079)
当パッチでは 経費精算機能について、2023年10月からのインボイス制度施行に伴う対応を行っております。 インボイス制度に対応した運用を行うには、当パッチ適用後、設定を行っていただく必要がございます。詳細につきましては、別紙「インボイス制度施行に伴う POWER EGG での対応につきまして」をご参照ください(※)。 また、これに伴い製品マニュアルを変更しております。当パッチを適用することで、製品に含まれるマニュアルファイルが変更後のファイルに置換変わりますので、ご確認ください。
※ 当パッチ同梱の資料「インボイス制度施行に伴う POWER EGG での対応につきまして」は、パッチリリース後に更新される可能性があります。最新版は下記 URL からご確認ください。 <a href="https://poweregg.d-circle.com/support/members/assets/invoice202310details_r1.pdf">https://poweregg.d-circle.com/support/members/assets/invoice202310details_r1.pdf</a>

負担部門チェックを行う設定の場合、部門識別が空白の明細種別を選択して申請しようとするると負担部門チェックでエラーになり申請できない (#35459)
発生条件： 以下の条件を全て満たす場合に発生します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 明細種別負担部門チェックを行う設定になっている</li><li>・ 部門識別が空白の明細種別が指定された明細を登録して申請を行う</li></ul>
事象： 発生条件を満たしている場合、申請画面で確認ボタンを押下すると負担部門チェックでエラーになり申請できない事象が発生しておりました。
修正内容： エラーにならずに申請できるように修正しました。



## ・ 挙動変更

以下については、パッチ適用前後で挙動変更があります。

### <ファイル管理>

ファイル管理拡張オプション Microsoft Edge、Google Chrome、Safari で、変換 PDF ファイルをキーワード検索済みの状態で表示可能にする（#35016）

Microsoft Edge、Google Chrome、Safari を利用時、ファイル検索機能でキーワードを指定して検索した場合、検索対象になった変換 PDF ファイルのファイル名をクリックすると、PDF ファイル内に含まれるキーワードが検索された状態でファイルを開くことができるように対応を行っております。また、Firefox で検索対象になった変換 PDF ファイルを開く際の挙動もそれに合わせて変更しております。

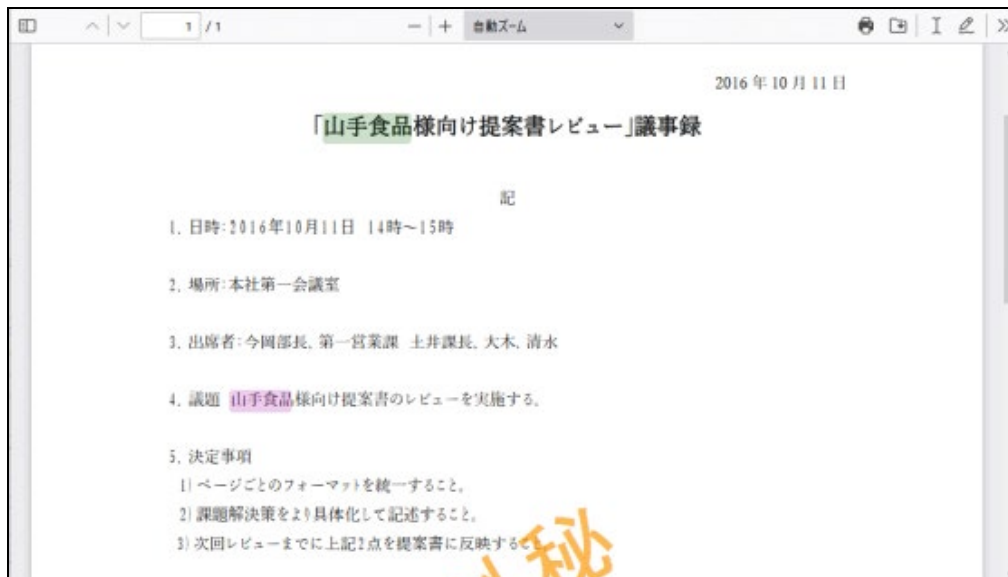
これに伴い、パッチ適用前後で下記の変更があります。

#### 1. ファイル検索で検索対象になった変換 PDF ファイルを開いた時の挙動

##### <パッチ適用前>

Microsoft Edge、Google Chrome、Safari では、検索対象になった変換 PDF ファイルを開いても、PDF ファイル内に含まれるキーワードが検索された状態で表示できませんでした。

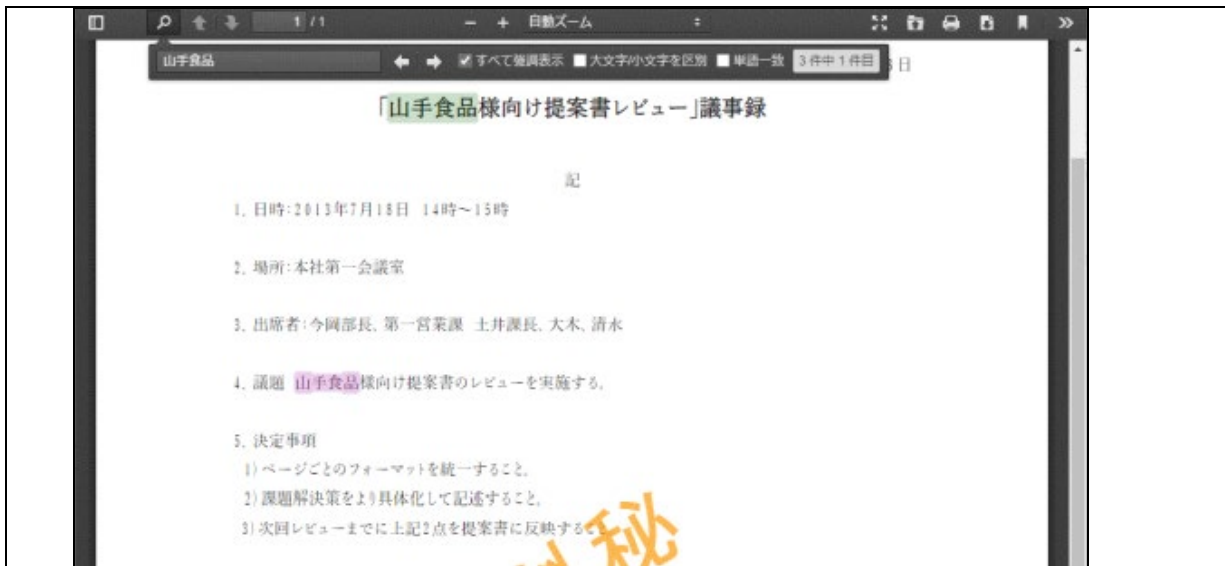
なお、Firefox の場合、検索対象になった変換 PDF ファイルを開くと、下記のようにキーワードがハイライトされた状態で表示されていました。下記のように表示するには Firefox にて PDF ファイルはブラウザで表示する設定を行う必要がありました。



##### <パッチ適用後>

Microsoft Edge、Google Chrome、Safari でも、PDF ファイル内に含まれるキーワードが検索された状態で表示されるようになります。

Firefox も含めいずれのブラウザでも下記のように表示されます。ブラウザ側の設定は必要ありません。



なお、検索に関して以下の制限事項があります。

- ・ ファイル検索のキーワード検索処理では、全角／半角が区別されませんが、PDF ファイル内での検索では区別されます。そのため内容表示画面でハイライト表示されている PDF ファイルを開いても、キーワードが検索されない場合があります。

## 2. ファイル内容表示画面にて変換 PDF ファイルを開いた時の挙動

### <パッチ適用前>

内容表示画面で変換 PDF ファイルのファイル名をクリックした時の挙動は、ブラウザの設定によって下記ようになっていました。

PDF ファイルをダウンロードする設定の場合

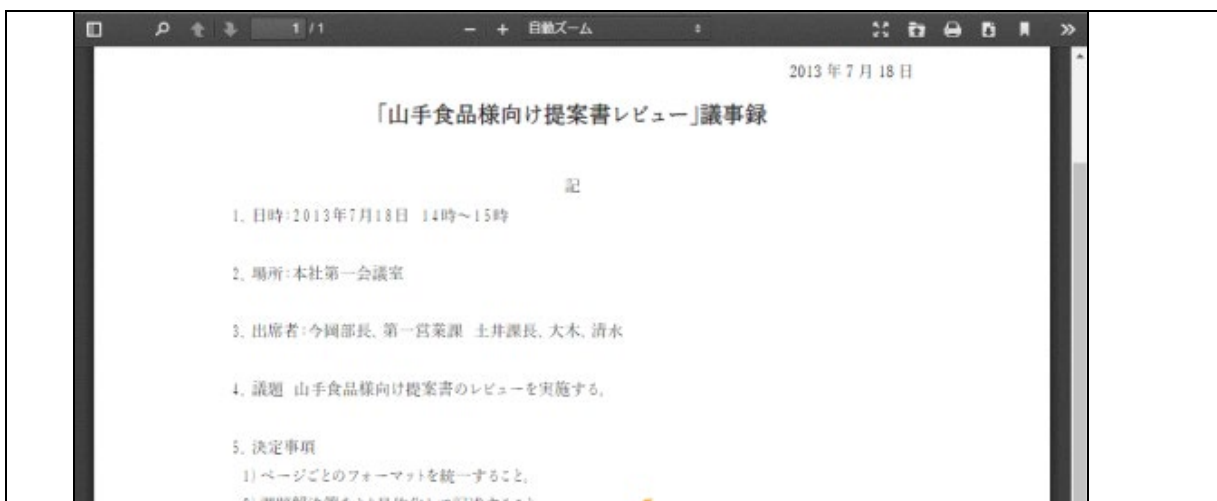
PDF ファイルがダウンロードされる。

PDF ファイルをブラウザで表示する設定の場合

各ブラウザ内蔵のビューアで PDF ファイルがブラウザ内で表示される。

### <パッチ適用後>

ブラウザの設定に関わらず、ファイル内容表示画面で変換 PDF ファイルのファイル名をクリックすると、下記のようにブラウザで PDF ファイルが表示されるようになります。なお、どのブラウザでも同じように表示されます。



上記画面のダウンロードボタンから PDF ファイルのダウンロードは可能です。FireFox の場合、ダウンロード可能にするにはブラウザで下記の設定が必要です。

#### 設定

- (1) ブラウザ右上のメニューをクリックし、“設定”を選択します。
- (2) 「設定」画面の「一般」の[プログラム]欄にて、“ファイルの種類 (Content Type)”が “Portable Document Format (PDF)” について、“取り扱い方法”を“ファイルを保存”に設定します。

※ 上記は、2023年3月時点の最新版 (110.0.01) での設定手順になります。

FireFox のバージョンアップに伴い、設定手順や挙動が変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、下記の制限事項があります。

- ・ 対象フォルダの PDF 変換の設定で、オプション：印刷禁止／コピー・編集禁止を指定している場合でも、ブラウザで表示された変換 PDF ファイルでは、設定が無視され、印刷／コピー・編集可能になります。ダウンロードした PDF ファイルは設定が有効になり、印刷／コピー・編集できません。
- ・ 変換 PDF ファイルのファイル名を右クリックし「名前を付けてリンク先を保存」といったメニュー (※) を選択しても、PDF ファイルをダウンロードできません。ダウンロードは、ファイル名クリックで表示される画面にてダウンロードボタンから行ってください。

※ ブラウザによってメニュー名が異なります。